



本当に大丈夫？
私たちの暮らし・こどもの未来

食・暮らし・いのちを脅かす

TPP交渉からの即時撤退

を求める運動を展開しています

政府は、TPP交渉の年内合意を目指し検証作業等を急いでいます。しかし、交渉内容は、いっさい私たちには知らされておられません。国益が守られないTPP交渉からはすぐに撤退すべきです。

「平成の
不平等条約」は
被災地の希望を
奪い取る

お金の無い人は
十分な医療を
受けられない
世の中に

安心・安全な
食べものを
選べなく
なっちゃう

国が企業の
言いなりに
国民の安全を
守れない

詳細はこちら ▶▶▶

JA宮城中央会

検索

TPPから食と暮らし・いのちを守るネットワーク宮城

農家だけじゃない!

みんなの暮らしが危ない!!

脅かされる 食の安全・安心

残留農薬基準などが緩和され、表示義務が撤廃、安全な食べものを選べないことに…



農業の崩壊

～輸入依存による食糧危機～

関税撤廃によって安い外国産農産物が流入し、国内農業に大打撃を与えます。宮城県農業産出額の約6割にあたる770億円が減少します。(2013年4月・宮城県の試算)「食」を海外に依存しては、食料危機に対応できません。

医療費・医薬品の高額化 ～命の沙汰も金次第に!～

病院の営利企業化で医療費が高騰し、国民皆保険が崩壊。お金のない人は医療を受けられない社会になる懸念があります。

失われる雇用 広がる格差

全産業で約190万人の雇用が失われます。

(2013年5月「TPP参加交渉からの即時撤回を求める大学教員の会」の試算)



地方経済の崩壊

公共事業等への海外企業参入で、地元企業の仕事が減少します。



外国企業が国を提訴 ～日本の主権が脅かされる～

ISD条項で外国の企業が国を提訴できるようになります。

国民の安全を守るための規制を、自国で決められなくなる懸念があります。

**安全な食べものが選べず、雇用も奪われ、
お金持ちしか医療を受けられない。そんな社会は
まっぴらごめんです。**

**誰もが安心して暮らせる未来のために、
運動の輪を広げましょう!!**